

2024年

315号

8月21日(水)



全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

《第32回 越谷支部 定期総会》
和田支部長挨拶
「一年間、気を引き締め頑張ります」



一年間 越谷支部長に選出されました。皆さんのご協力と相談し、健康と相談しながら活動したいと思っております。私事で恐縮ですが今年5月に手術を受け、約一か月間活動ができず皆さんに大変迷惑をおかけしました。支部執行部では、前支部長の吉田健治さん、書記次長の川原さんも手術を受け大変な状況ですが、皆さんの力をお借りし頑張っていきたいと思っております。

年々気温上昇がはなはだし、毎日熱中症による救急搬送が後を絶たず、世界的に地球沸騰化の時代に入ったと言われます。気温だけではなく、ゲリラ雷雨も至る所で発生し、内水氾濫が大きな問題となつていきます。このまま進むと地球環境がミシシシと壊れていく感じがします。又、気温上昇により、農漁業にも大きな被害が出ています。このような状況の中「食料供給困難事態対処法」を成立させ、食料不足時には「一日三食イモを食え」と言わんばかりです。

自公政権は、場当たり政策しか発想できないばかりか、国の税金をだまし取ったり、裏金作りにウツツを抜かし、おろ、私たちの未来を任すわけにはいきません。狂乱物価の中、岸田政権は昨年・今年と二年間で年金引き上げ分を1%もカットし、年金生活者の暮らしを益々窮地に追い込んでいます。年金生活者は団結し、自分たちの生活は自分たちで守る以外方法はありません。「楽しみ7分・活動3分」の年金者組合の精神で、今年1年間頑張りますので、みなさんのご協力をお願いします。越谷支部 支部長 和田幸雄

第32回 支部定期総会

7月31日(水) 13時より越谷中央市民会館で越谷支部の第32回定期総会が開かれました。議長には2班の高橋三郎さんが選出されました。総会は組合員数218名中、参加者29名、委任状163で組合員の過半数をこえ総会は成立しました。

<2024年度役員>

支部長	和田 幸雄
副支部長	足立 秀機
副支部長	吉田 健治
副支部長	吉田 正美
書記長	五十嵐 光範
書記次長	川原 利雪
書記次長	広瀬 久雄
書記次長	森 秀夫
執行委員	浅子 豊
執行委員	高橋 三郎
執行委員	長谷川 昌弘
執行委員	不破 千代江
副行委員	宮下 文子
執行委員	森山 久子
会計監査	大滝 孝一
会計監査	中島 一男



後、来賓として宇佐美埼玉県本部執行委員長、河田越労連議長、民主市政をめざす越谷市民の会から大里代表、越谷社会保障推進協議会から斉藤会長、立憲民主党越谷市議団から土屋市議、日本共産党越谷市議団から大和田市議から祝辞をいただきました。また、福田越谷市長、埼玉土建一般労働組合越谷支部関係支部長、新日本婦人の会越谷支部高橋支部長、(続く)

点 睛

8月は戦争の事を思わずには

パリではオリンピックが開かれ、ついっ夜中までテレビを見ている私ですが、平和だからこそ布団の中の観戦でした。8月はやはり戦争の事を思わずにはいられません。1943年生まれの私、3月10日の東京大空襲、5月26日の山の手の空襲、焼夷弾の飛び交う中で弟が生まれました。このまま東京については命が危険だと判断をした両親は生まれて首も座らない弟を背負い私が3歳、姉2人、家族6人で信州へと、6月15日に疎開をしたのです。信州へ疎開して2ヵ月で敗戦になりました。親類縁者のいない土地での生活は大変で、食べ物調達が1番大変でした。戦後も配給制度があり母と配給所へさつまいもを取りに行った時話したこと(今度美味しいのが当たるといいね)が鮮明に思いだされます。5歳上の姉は今でも花火の音を聞くのは嫌だといっています。それぞれの記憶の中に戦争は消え去る事のない悪夢です。戦後新しい憲法9条で、もう2度と戦争はしないと誓って、皆で守り大切に生きてきたのに、簡単にそれをかなぐり捨て、武器の輸出や戦闘機を作る、ま、自衛隊の指揮命令系統を米国に握られそうにもなっています。米軍基地は沖縄が日本に復帰した時は、3施設だったものが、今では31か所にも増えています。政府は沖縄の負担軽減を口にしませんが嘘ばかり言って基地を強化してきました。今は避難計画を策定しろと。台湾有事だの、北朝鮮がミサイル、中国の脅威だの防衛費の拡大につとめています。今政府がやらなくてはならない事は有事を避けるにはどうしたらいいかを話し合うことではないでしょうか。今の政権に任せていては危険です。(宮下文子)

今年の酷暑はまだ続きます。高齢者にとって「熱中症」は命に関わる問題です。健康を第一に考えましょう！